

もうすぐ幼稚園【学校教育のスタート】

いよいよ4月から、心待ちにしていた幼稚園での集団生活が始まります。

幼稚園は子どもたちがはじめて出会う学校です。幼稚園では、遊びを通しての総合的な教育を行っています。この時期に身体を思い切り動かして遊ぶことで、いろいろな基礎（生きる力）を培うといわれています。そのため、幼稚園では幼児の育ちの過程を見通した様々な活動を意図的、計画的に取り入れて指導し、子どもたち一人一人が遊びを通して、創造する力や人とかかわる楽しさ、そして身近な自然や動植物との触れ合いなどで不思議さなどに気づく知的好奇心などを育てていきます。また、この時期によいことや悪いことの区別判断、自他を大事にする心等の道徳性の芽生えも育つよう指導していきます。

新しい園生活は、保護者の皆様やお子様にとって期待と不安があることと思います。子どもたちが安心して過ごし、楽しい園生活を送ることができるよう、園長はじめ、職員一同頑張っていきたいと思っております。お子様のご入園を心よりお待ちしております。

1. 本園の教育目標

思いやりのある豊かな心を持ち、主体的に行動する子

(1) 明るく元気な子

- ・いろいろな活動に興味、関心を持ち、進んで遊ぶことができる。
- ・基本的な生活習慣や社会生活に必要な態度を身につける。
- ・園生活の決まりを守り、安全に遊ぶことができる。

(2) 思いやりのある子

- ・友だちと協力して、仲良く遊ぶことができる。
- ・相手の気持ちがわかり、自分なりに受けとめることができる。
- ・身近な動植物に親しみをもって接し、命の尊さに気づくことができる。

(3) よく考える子

- ・いろいろな遊びに進んで取り組む。
- ・自分の考えや気持ちを相手に伝えたり、感じたことや考えたことをいろいろな方法で表現したりする。
- ・先生や友だちの話をよく聞き、考えて行動することができる。

2. 幼稚園生活について 〈活動の流れ〉

月・火・水・金（8：15～14：00） 木（8：15～13：00）

8：15 ○登園

- ・所持品の始末（カバン、帽子、水筒など）
- ・出席ノートへのシール貼り

8：45 ○朝の会

- ・出席点呼、健康観察
- ・今日一日の活動の流れを知らせたり、話し合ったりする。

9：00 ○園庭の清掃、草花への水やり

○主体的活動（好きな遊び）

- ・戸外遊び（固定遊具、鬼ごっこ、砂場、運動遊びなど）
- ・室内遊び（ごっこ遊び、製作遊び、絵本・リズムなど）

○学級活動（製作遊び、運動遊び、集団遊び、話を聞く活動など）

11：30 ○給食、弁当

○片付け・清掃

○帰りのひととき ・絵本の読み聞かせ ・一日の振り返り ・降園指導

14：00 ○降園（木は13：00）

— 預かり保育(午前の教育課程終了後～18：30まで) —

教育課程終了後、園児を預かります。教育課程と連携のもと、家庭的な雰囲気大切に、園児が落ち着いて過ごせるようにしています。

※年間活動として

- 体育館活動：小学校体育館を使用（週1回）
- プール：6月～7月（週1回）
- 絵本貸出・保護者による絵本の読み聞かせ

3. 年間の保育時間について

○登園時刻 8：15～

○降園時刻 4月11日（木）～5月2日（木） → 11：30

5月 7日（火）～月・火・水・金 → 14：00

木【弁当】 → 13：00

4. 保育期間、登園・降園時の送迎について

	午前の教育課程(1組)	預かり保育(わくわくクラブ)
保育期間について	入園式(4月10日)から修了式(3月14日)まで 【休業日】 土曜、日曜、祝祭日、長期休業日(夏休み等)、その他の園長が指定した日(学校行事の振替休日等)	入園式の翌日から3月末まで 長期休業期間(夏休み等)を含む 【休業日】 土曜、日曜、祝祭日、年末年始(12/29～1/3)、その他の園長が指定した日(学校行事の振替休日等)
登園について ※登園時刻は8時15分です	4月は保育室前まで送ってください。	長期休業中(夏休み等)は保護者の方(保護者の委任を受けた成人の方)が保育室前まで送り、登園表にサインしてください。
降園について	<u>年間を通して、保育室前まで迎えてください。</u>	年間を通して保護者(保護者の委託を受けた成人の方)が保育室前まで迎え、降園表にサインしてください。 ☆保護者以外の方が迎える場合は、事前に連絡してください。 ☆習い事に通う場合は、必ず習い事の先生や保護者の送迎をお願いします。子どもだけで待ち合わせ場所に行くことや幼稚園職員の送り迎えはできません。また、習い事の後に、園に戻ることはできません。
<p>○登降園の道順を子どもと一緒に歩いて、交通安全について話し合しましょう。</p> <p>○登降園時間内の小学校や幼稚園への車の乗り入れは禁止です。また、送迎の車は、小学校正門・裏門周辺には駐車できません。</p>		

5. 健康安全について

- ①感染症の病気は出席停止になります。
(はしか、水痘、風疹、流行性結膜炎、耳下腺炎、インフルエンザなど)
- ② 幼稚園で発熱したり、怪我をしたりした場合は、保護者へ連絡いたしますので緊急時に連絡がとれるようにご協力下さい。
- ③ 飲み薬を持たせるときは、病院から処方された薬のみを1回分だけ持たせてください。誤飲を防ぐため、「投薬依頼書」を必ず提出してください。
※「投薬依頼書」は入園式に配布します。

6. 徴収金について

午前の教育課程(1組)	預かり保育(わくわくクラブ)
毎月 350円 (おやつ費 150円+PTA会費 200円) ※遠足代等、別途徴収する場合があります。	・4月～12月は1000円徴収 ・1月(2、3月分を含む)は、600円徴収 ※月800円のおやつ費を年間割りで徴収致します。
<p>徴収金は、毎月、園便り・預かり便りと一緒に徴収袋を配ります。</p> <p>釣銭のないように、期限内に納めてください。</p> <p>※食物アレルギーがある場合は、おやつ費の徴収はありません。(おやつ持参となります)</p>	

7. 服装について

- ① 制服はありませんので、活動しやすい(汚れてもよい)服装で登園させて下さい。
(長ズボンやロングスカートは、活動の妨げになります)
- ② 靴(運動靴)、靴下は自由です。ひも靴は自分で結べるようになってから履かせて下さい。
- ③ 帽子は、園指定のカラー帽子を使用します。(入園式の日には配付します)

8. 入園までに準備する物

①カバン

特に指定はありません。(リュック型で着替えが入る大きさのもの)

②雨具

カッパを準備してください(傘は幼児には危険なため)

③上履き・上履き入れ

(特に指定はありません)

④水筒

肩掛けの紐がついているもの

⑤体育着

5月から使用します。男女とも上着(白)半ズボン(紺)でコザ小学校の体育着と同じです。

☆午睡用バスタオル2枚(預かり保育のみ)

毎週金曜日に持ち帰ります。洗濯して月曜日に持たせてください。

毎日の持ち物

○帽子、お便り帳(入園式に配布します)

○水筒 (水かお茶を入れてください)

○着替え (2枚程度。☆預かり保育利用者は3枚程度)

着替えた洋服を入れる袋

○ハンカチ・ミニタオル (ポケットに入るサイズ。☆預かり保育用の替えもカバンに用意してください)

給食開始(5月7日)まで、預かり保育利用者は毎日弁当持参になります。

※持ち物にはすべて名前を書いてください。

※おもちゃ、お菓子、お金(徴収金以外)は園に持たせないようにしてください。

—弁当について—

○初めは食べやすい量にしてください。

○誤飲の恐れのある食べ物は、カットして持たせてください。

○デザートを持たせる場合はお菓子やゼリー等ではなく、果物を適量持たせてください。

○お箸を持たせて下さい。(メニューに応じてスプーン・フォークを用意して下さい)

○保冷剤は持たせないで下さい。(誤飲防止のため。夏場は、クーラーをかける等、弁当が傷まないよう園で配慮します)

☆弁当箱はお子さんの食べる量に合わせて大きさを選んで下さい。又、**大きめのハンカチで包んで**持たせて下さい(ハンカチを敷いて弁当を食べます。)

9 その他

- 連絡先・住所・勤務先等が変更になった場合は、早めにお知らせください。
- 子どもたちへの旅行等のお土産、差し入れ、行事等のプレゼントはご遠慮させていただきます。(食物アレルギー等への配慮のため)
- 個人情報保護の観点から、行事や参観日等で撮影した写真や動画の取り扱いには、十分ご注意ください。SNS や LINE などへの掲載は控えていただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。(参観日等で動画の撮影をお控えいただく場合もあります)

10. 入園までに身に付けてほしい基本的生活習慣について

(1) 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を身に付ける。



幼稚園で元気いっぱい遊ぶために、十分な睡眠と朝ごはんを食べることが大切です。

(2) 自分で衣服の着脱をする。



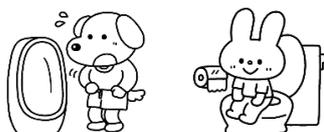
自分でできるという自信を持たせることが大切です。自分でできたら褒めてあげてください。

(3) 「手洗い・うがい・歯磨き」の習慣を身に付ける。



健康な生活を送るために、進んで行うことができるようにしましょう。

(4) トイレの使い方が分かり、自分で排せつすることができる。



排せつしたい時に、我慢しないでトイレに行くことができるようにしましょう。

(5) あいさつや返事をする。



名前を呼ばれたら返事をする、「おはようございます」「さようなら」など、元気よくあいさつができるようにしてください。